

2040年を見据えた新歯科医療提供に何が必要か？

地域支援型多機能歯科診療所構想 ～地域におけるモデルケースの構築に向けて～

日本歯科医学会
小林隆太郎

2018年	「2040年を見据えた歯科ビジョン」構想が開始
2019年6月	「2040年を見据えた歯科ビジョン検討会議」
2019年11月	地域支援型多機能歯科診療所構想が必要と考え、「新歯科医療提供検討委員会」での活動を開始

その目的は検討ではなく、多面的な分析を含めた報告書として、日本歯科医師会、厚生労働省などにバトンタッチして、具現化、社会実装につなげる一つのたたき台としての利用していただきたいとの思いであった。

今後予想される問題点、課題の抽出

- ① 通常の歯科治療が困難な患者の増加（有病高齢者、障害者、歯科治療恐怖症・異常絞扼反射を有する患者、幼少不協力児、重度認知症患者等）とその対応。
- ② 団塊の世代の歯科医師引退、地域における後継者問題、歯科医師不在地域の出現。
- ③ 女性歯科医の増加、働き方改革、女性歯科医の活躍の場。
- ④ 医療提供地域格差の是正、機能分化によるかかりつけ診療所との共存。
- ⑤ 専門性のある診療の必要性の増加。専門医の活躍の場。
- ⑥ 地域包括ケアシステム、医療連携の充実。
- ⑦ 訪問歯科診療での専門的治療の対応。

など

地域支援型多機能歯科診療所の持つ機能は、地域やその環境によって必要とする内容は異なることがわかる。

日本歯科医学会新歯科医療提供検討委員会への諮問内容からみえること

住友雅人会長より第1期、第2期、第3期新歯科医療提供検討委員会へ諮問された内容の概要である。
この内容より地域支援型多機能歯科診療所構想の目的が理解できる。

■2019年11月8日第1期委員会へ発出された諮問書

1. 今般の働き方改革については日本歯科医師会が担当し「歯科医師の勤務実態等の調査研究」に取りまとめて公表された。日本歯科医学会においては今期新設された本委員会においてその内容を十分検討し、学会としてそれに加える必要のある提言を答申していただきたい。
2. 歯科医療の新機軸として、多機能の歯科診療所（いわゆる1.5次歯科医療機関）が期待されている。（一社）日本歯科専門医機構の設立により、新歯科専門医制度の下での増加が予想される**歯科専門医**、加えて、現に増加している**女性歯科医師**の活躍の場としての1.5次歯科医療機関について、どうあるべきかの検討をいただき、実現可能な提案をお願いしたい。この提案においてはすでにその方向性にあるモデル歯科診療所の調査・報告を含むものとする。

この時点で近い将来への準備の目的がはっきり示されていた。

■2021年9月29日に発出された第2期委員会への諮問書

1. 第1期委員会答申を基として、1.5次歯科医療機関（診療所）について、具体的な形に進める手段の検討、モデルケースの構築をお願いしたい。
2. ここは女性歯科医師と歯科専門医の活躍の場という可能性についても多面的にご検討いただきたい。

■2023年10月13日に発出された第3期委員会への諮問書

1. さまざまな地域における本構想に資する情報を数多く収集し、経営、運用面を含めた幅の広い具体的な個別事例ならびに構想を示していただきたい。
2. 貴委員会は原則、今期限りとし、以後は日本歯科医師会での具体的な検討に資する提案書（答申書）の作成を諮問する。

「2040年を見据えた新歯科医療提供に何が必要か」をテーマに歯科医療の各分野でご活躍されている先生方から、歯科医療環境の現況、課題そして解決策が提示された。

(日本歯科医師会雑誌)

- ① 2023年9月号 永山正人 先生（第1期委員長）：
「地域支援型多機能歯科診療所の必要性について」
- ② 2023年10月号 宮田 勝 先生：
「歯科医療における医療連携と病院歯科の必要性」
- ③ 2023年11月号 立浪康晴 先生（第2期委員長）：
「2040年を見据えた歯科医療体制の新機軸として期待される地域支援型多機能歯科診療所」
- ④ 2023年12月号 石田義幸 先生（第3期委員長）：
「地域支援型多機能歯科診療所構想の展望」
- ⑤ 2024年1月号 小林隆太郎：
「地域支援型多機能歯科診療所構想地域におけるモデルケースの構築に向けて」

求められる医療機関のカテゴリー

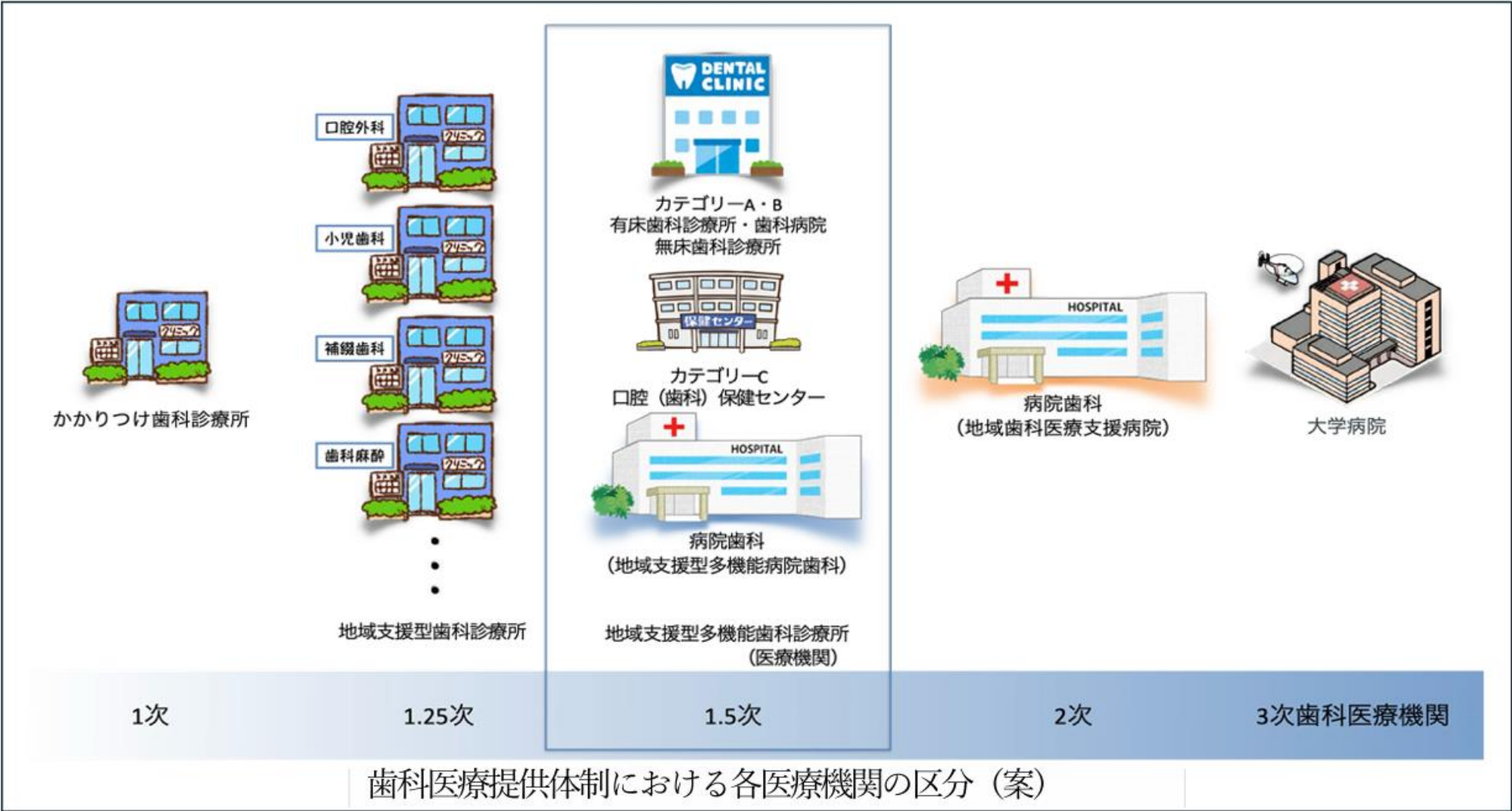
各カテゴリーに求められる施設要件（案）¹⁾

	カテゴリーA 有床歯科診療所・歯科病院	カテゴリーB 無床歯科診療所	カテゴリーC 口腔（歯科）保健センター
常勤歯科医師	5名以上	3名以上	1名以上
広告可能な 歯科専門医	常勤2名以上	常勤1名以上	非常勤可
歯科麻酔科医	常 勤	非常勤可	
麻酔管理	入院設備・歯科麻酔管理料	リカバリーを有する	
	全身麻酔および静脈内鎮静法を安全に実施できる設備・体制を確保している		
雇用環境	女性歯科医師のワークライフバランスを考慮した雇用環境が整備されている		
歯科訪問診療	歯援診1	歯援診2	
施設認定*	2以上	1以上	

施設認定*：厚生労働省歯科医師臨床研修指定施設、日本歯科医学会専門分科会の臨床研修施設あるいは指導施設
歯科衛生士学校の臨床実習施設など

各歯科医療機関の区分（案）

地域によって歯科医療サービスの需要と供給が異なるのは当然である。各地域でより効果的・効率的な歯科医療提供体制を構築するためには、既存の歯科医療資源の機能を把握することが不可欠である。そこで、各歯科医療機関を「地域支援性」と「多機能性」を基準として下図のように分類



地域完結型の歯科医療提供体制（案）

カテゴリーA~Cで構成される地域支援型多機能歯科診療所（医療機関）のほかに、地域支援型歯科診療所（1.25次歯科診療所）および「かかりつけ歯科診療所」の後方支援に機能分化した病院歯科（地域支援型多機能病院歯科：仮称）を組込んだ歯科医療提供体制を提案する。

